

目標(指標)の達成状況及び新たな目標(指標)

①健康増進計画(その1)

基本施策	項目	目標	現計画				次期計画	
			計画策定時	目標値	現状値	判定	目標値	理由
		健康寿命の延伸	男性:79.0年 女性:84.4年 (平成22年度)	延伸	男性:80.2年 女性:84.8年 (令和4年度)	C	延伸	現計画継続
		75歳未満男女のがんの年齢調整死亡率の減少(10万人当たり指数)	男:82.0 女:72.3 (平成22年度)	男:82.0 女:65.0 (令和5年度)	男:93.8 女:43.3 (H30-R2年度3年平均)	D A	-	外的要因が多く、3年遅れのデータ取得となるため参考値とする。
		脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男:41.8 女:22.7 (平成22年度)	男:38.0 女:22.0 (令和5年度)	男:31.7 女:14.7 (H30-R2年度3年平均)	A A	-	外的要因が多く、3年遅れのデータ取得となるため参考値とする。
		虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男:29.3 女:8.4 (平成22年度)	男:18.4 女:8.0 (令和5年度)	男:14.2 女:10.7 (H30-R2年度3年平均)	A C	-	外的要因が多く、3年遅れのデータ取得となるため参考値とする。
生活習慣の改善	(1)身体活動	運動習慣(1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している)のある人の割合の増加	男性:45.9% 女性:39.1% (平成24年度)	男性:50.0% 女性:45.0% (令和5年度)	男性:43.3% 女性:36.8% (令和3年度)	C C	男性:50.0% 女性:45.0% (令和10年度)	現計画継続
	(2)飲酒	生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている者の割合の減少	男性:19.7% 女性:10.1% (平成24年度)	男性:17.0% 女性:9.0% (令和5年度)	男性:13.9% 女性:11.6% (令和3年度)	A C	変更 男性:11.0% 女性:11.0% (令和10年度)	国計画に同じ
		妊娠中の飲酒をなくす	1.77% (平成24年度)	0.0% (令和5年度)	0.0% (令和4年度)	A	0.0% (令和10年度)	現計画継続
	(3)喫煙	喫煙率の減少	男性:24.3% 女性:3.9% (平成24年度)	男性:22.0% 女性:3.0% (令和5年度)	男性:22.1% 女性:4.2% (令和3年度)	C C	男性:22.0% 女性:3.0% (令和10年度)	現計画継続
		妊娠中の喫煙をなくす	7.1% (平成24年度)	0.0% (令和5年度)	2.3% (令和4年度)	B	0.0% (令和10年度)	現計画継続
	(4)歯・口腔の健康	乳幼児期のむし歯のある者の割合の減少	1歳6か月児:3.0% 3歳児:21.7% (平成24年度)	1歳6か月児:2.1% 3歳児:14.2% (令和5年度)	1歳6か月児:0.5% 3歳児:4.8% (令和4年度)	A A	廃止	目標達成 (全国的にも減少傾向)
		学齢期(小学校6年生.11歳)のむし歯の本数の減少	1.52本 (平成24年度)	1.0本 (令和5年度)	0.6本 (令和4年度)	A	廃止	目標達成 (全国的にも減少傾向)
		過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加	59.2% ※(平成29年度)	64.9% (令和5年度)	63.8% (令和5年度)	B	64.9% (令和10年度)	現計画継続

①健康増進計画(その2)

生活習慣の改善	(5)栄養・食生活	1日3食規則正しく食べている人の割合を増やす	82.5% (平成24年度)	88.0% (令和5年度)	80.2% (令和5年度)	C	廃止	食育推進計画の指標と重複のため	
		野菜の摂取頻度を増やす(ほぼ毎日野菜を食べている人を増やす)	78.6% (平成24年度)	84.0% (令和5年度)	68.9% (令和5年度)	D	廃止		
		子どもの甘いお菓子やスナック菓子の摂取頻度を減らす	38.6% ※(平成29年度)	35.6% (令和5年度)	35.8% (令和5年度)	C	移行		食育推進計画へ移行
		子どもの清涼飲料水の摂取頻度を減らす	14.6% ※(平成29年度)	12.3% (令和5年度)	9.0% (令和5年度)	A	移行		
生活習慣病(NCDs)の発症予防・重症化予防	(1)生活習慣病の予防(がん)	がん検診受診率の向上	胃がん:6.9% 大腸がん:16.3% 前立腺がん:6.8% 肺がん:8.1% 乳がん:140% 子宮がん:17.2% (平成24年度)	胃がん:10.0% 大腸がん:20.0% 前立腺がん:15.0% 肺がん:10.0% 乳がん:20.0% 子宮がん:25.0% (令和5年度)	胃がん:6.0% 大腸がん:15.3% 前立腺がん:10.3% 肺がん:10.5% 乳がん:13.5% 子宮がん:15.2% (令和4年度)	C C B C C C C	変更 50% (参考) 市民アンケート 38.8% (令和4年度)	がん種別毎ではなく、まとめる。数値を市民アンケートからの数値へ変更し、現状にあわせて変更する	
		がん検診精密検査受診率の向上	胃がん:89.6% 大腸がん:58.1% ※前立腺がん:81.8% 肺がん:81.3% 乳がん:91.8% 子宮がん:63.8% (平成24年度)	胃がん:100% 大腸がん:80% 前立腺がん:100% 肺がん:100% 乳がん:100% 子宮がん:100% (令和5年度)	胃がん:85.4% 大腸がん:66.4% 前立腺がん:71.8% 肺がん:89.4% 乳がん:92.3% 子宮がん:87.6% (令和3年度)	D B D B B C B	変更 90% (参考) 業務取得データ 75.9% (令和4年度)	がん種別毎ではなく、まとめる。現状にあわせて変更する	
	(2)生活習慣病の予防(循環器・糖尿病)	特定健診受診率の向上	41.3% (平成24年度)	56% (令和4年度)	39.6% (令和3年度)	C	第3期データヘルス計画に合わせて設定		
		特定保健指導の実施率の向上	58.0% (平成24年度)	70% (平成5年度)	74.6% (令和3年度)	A	第3期データヘルス計画に合わせて設定		
		ハートフル健診の受診者数の向上	※14.4%(266人) (平成29年度)	20.0%(一) (令和5年度)	14.0%(219人) (令和4年度)	C	変更 270人 (令和10年度)	現状にあわせて変更	
		メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合の減少	該当者:16.0% 予備軍:10.6% (平成24年度)	該当者:13.0% 予備軍:8.0% (令和5年度)	該当者:20.3% 予備軍:10.3% (令和4年度暫定)	D C	第3期データヘルス計画に合わせて設定		
		肥満(BMI25以上)の者の割合の減少	男:27.1% 女:18.0% (平成24年度)	男:25.0% 女:17.0% (令和5年度)	男:32.5% 女:20.6% (令和4年度暫定)	D C	廃止	上記項目に類似しているため	

①健康増進計画(その3)

生活習慣病(NCDs)の発症予防・重症化予防	(2)生活習慣病の予防(循環器・糖尿病)	新 高血圧の者の割合減少 Ⅱ度以上(収縮期血圧160または拡張期血圧100以上)の場合			5.1% (令和3年度)		新 第3期データヘルス計画に合わせて設定	筑後市における重要課題のため	
		特定健診受診者	血糖コントロール不良者(HbA1c7.0%以上の者)の割合の減少	31.4% (平成24年度)	25% (令和5年度)	34.6% (令和4年度暫定)	D	廃止	詳細な項目でありデータヘルス計画と重複のため
			糖尿病未治療者(HbA1c6.5%以上の者)の割合の減少	4.7% (平成24年度)	3.5% (令和5年度)	3.1% (令和4年度暫定)	A	廃止	詳細な項目でありデータヘルス計画と重複のため
			血圧コントロール不良者(血圧中等症以上の者)の割合の減少	5.5% (平成24年度)	4.0% (令和5年度)	6.4% (令和4年度暫定)	C	廃止	詳細な項目でありデータヘルス計画と重複のため
			血圧未治療者(血圧中等症以上の者)の割合の減少	5.5% (平成24年度)	2.9% (令和5年度)	4.8% (令和4年度暫定)	C	廃止	詳細な項目でありデータヘルス計画と重複のため
			脂質コントロール不良者(LDLコレステロール160以上の者)の割合の減少	3.9% (平成24年度)	3.0% (令和5年度)	4.0% (令和4年度暫定)	C	廃止	詳細な項目でありデータヘルス計画と重複のため
			脂質異常未治療者(LDLコレステロール160以上の者)の割合の減少	11.7% (平成24年度)	8.1% (令和5年度)	10.4% (令和4年度暫定)	C	廃止	詳細な項目でありデータヘルス計画と重複のため
		糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少	5人 (平成24年度)	減少	6人 (令和3年度)	C	減少	現計画継続	
		低出生体重児の割合の減少	8.7% (平成22年度)	減少	9.7% (令和2年度)	C	減少	現計画継続	
		こころの健康づくり	(1)休養	睡眠で休養が十分とれていない人の割合を減らす	23.3% (平成24年度)	20.0% (令和5年度)	24.3% (令和3年度)	C	移行
ストレスの解消法を持っている人の割合を増やす	73.2% ※(平成29年度)			80.0% (令和5年度)	75.9% (令和4年度)	C	移行		
(2)こころ	自殺者の減少 (人口10万人当たりの指数)		32.78 (平成23年)	10.0 (令和5年)	14.2 (令和4年)	C	廃止	自殺対策計画の指標と重複のため	

②食育推進計画

※参考値

現計画						次期計画		
基本施策 (大切なこと)	指標	計画策定時 (H29年度)	目標値 (R5年度)	現状値 (R5年度)	判定	目標値	理由	基本方針 基本施策
	食育に関心がある人の割合	79.2%	86%	77%	C	86%	現計画継続	ち
1-1 野菜を食べて “バランスのよい食”	野菜を食べる人の割合	71.5%	77%	66.6%	D	77%	現計画継続	く
	バランスのよい食事をしている人の割合	65.2%	70%	64.8%	C	70%	現計画継続	
1-2 朝ごはんを食べて “活力高める食”	毎日朝・昼・夕の3食をとっている人の割合	78.1%	83%	80.2% ※	C	83%	現計画継続	
	朝ごはんをとっている子どもの割合	93.9%	100%	95.7% ※	C	98%	現状値より新たに設定	
【健康増進計画より】	子どもが甘いお菓子やスナック菓子を食べる割合	38.6%	35.6%	35.8% ※	C	35.6%	健康増進計画から移行 現計画継続	
	子どもが清涼飲料水を飲む割合	14.6%	12.3%	9% ※	A	8%	健康増進計画から移行 現状値より新たに設定	
【新規】	果物を食べている人の割合	/		42.4%	/	48%	基本施策に新たに、「果物摂取」「減塩」を追加したため	
	減塩を意識し、実践している人の割合			68.4%		75%		
2-1 学習や体験を通して“学 んで感じる食”	食と農に関する学習や体験をしたことがある人の割合	39.6% (69.6%と記載)	75% (設定誤り)	31.5%	D	40%	現状値より新たに設定	こ
2-2 マナーを守って “笑顔あふれる食”	家族そろっての食事を心がけている人の割合	81.6%	85%	80.4%	C	90%	現状値より新たに設定 (家族以外にも、友人、地域の方との共食を追加)	
2-2 マナーを守って “笑顔あふれる食”	食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしている人の割合	57.6%	63%	54.5%	D	廃止	あいさつを「いつもする」・「時々する」の割合でみると、約8割で推移しているため、重点項目から外す	/
	子どもにマナーを教えている人の割合	93.6%	98%	92.6%	C	廃止	9割以上で推移しているため、重点項目から外す	

③自殺対策計画(その1)

分野	指標	現計画				次期計画	
		計画策定時	目標値	現状値	判定	目標値	理由
目標	4年間の年間平均自殺死亡率	14.2 (平成27～30年)	10.0以下 (令和2～5年)	13.66 (平成31～令和4年)	B	10.0以下 (令和6～9年)	総合計画と同値。現計画継続
重点対象者	経済・生活問題を原因・動機とした自殺者数の合計	2 (平成27～30年)	0 (令和2～5年)	7	D	廃止	地域自殺実態プロファイルによる重点対象者は、毎年変更の可能性がある。また、コロナ禍で女性や若年者の対策も必要 ⇒ほぼすべて対象
	40～50歳代(男性・無職・独居)の自殺死亡率(1年当たりの平均値で比較)	1,092.5 (平成25～29年)	1,092.5より減少 (令和2～5年)	504.8 (H29～R3)	A		
	勤務・経営問題を原因・動機とした自殺者数の合計	4 (平成27～30年)	0 (令和2～5年)	3 (平成31～令和4年)	B		
	40～50歳代(男性・有職・独居)の自殺死亡率(1年当たりの平均値で比較)	153.9 (平成25～29年)	153.9より減少 (令和2～5年)	31.1 (平成29～令和3年)	A		
1.地域におけるネットワークの強化	筑後市自殺対策推進協議会の開催	— (令和元年度)	1回/年 (令和5年度)	1回 (令和4年度)	A	廃止	活動指標⇒具体的な取組(年度計画)
2.自殺対策を支える人材の確保	ゲートキーパー研修の開催回数	— (令和元年度)	2回/年 (令和5年度)	2回 (令和4年度)	A	変更 延べ受講者数 523人⇒1500人	活動指標⇒成果指標
	市職員のゲートキーパー認知度	— (令和元年度)	80%以上 (令和5年度)	79.60% (令和4年度)	B	廃止	目標ほぼ達成

③自殺対策計画(その2)

3.住民への啓発と周知	市広報への自殺防止に関する記事の掲載回数	1回/年 (平成30年度)	1回/年 (令和5年度)	1回 (令和4年度)	A	廃止	活動指標⇒具体的な取組(年度計画)
	悩みの相談窓口があることを知っている人の割合	45.7% (平成30年度)	60% (令和5年度)	48.1% (令和5年)	C	60% (令和10年度)	現計画継続
	睡眠で休養が十分とれていない人の割合	24.0% (平成29年度)	20% (令和5年度)	24.3% (令和4年度)	C	新 20%	健康増進計画から移行。現計画継続
	ストレス解消法を持っている人の割合	73.2% (平成29年度)	80% (令和5年度)	75.9% (令和4年度)	C	新 80%	
4.生きることの促進要因への支援	生活困窮者自立相談支援事業の新規相談受付件数	49件 (平成30年度)	60件 (令和5年度)	35件 (令和4年度)	D	変更 75%⇒80%	指標の増減と目標との関連が大きくないため、相談件数ではなく、解決率に変更する。
	筑後市社会福祉協議会の自殺対策関連事業参加者数	1,154人 (平成30年度)	1,154人より増加 (令和5年度)	3,531人 (令和4年度)	A	変更 1,500人	フードパントリー事業関連が大半で、R5に事業縮小あり。次期計画ではフードパントリー事業を除く。
	児童生徒や保護者に対してスクールソーシャルワーカーの周知活動	— (平成30年度)	3回/年 (令和5年度)	3回 (令和4年度)	A	廃止	活動指標⇒具体的な取組(年度計画)
5.児童・生徒のSO Sの出し方に関する教育	20歳未満の自殺死亡率	0 (平成30年度)	0 (令和5年度)	2 (令和4年度)	D	廃止	「目標」に包含される
	いじめの認知件数(小中学校合計)	226件 (平成30年度)	320件 (令和5年度)	198件 (令和5年度)	D	廃止	指標の増減と目標との関連が大きくない